

大平交通安全だより

2014年
夏
交通事故防止
特集号



危険を ブロック!

■日差しが強くなり気温も上がる夏、日傘や日焼け止めなどを使わずに出歩くと、熱中症や日焼けなどで体調を崩す危険性が高まりますが、同じように、これといった防備をすることなく、ただ漫然と道路を通行していると、交通事故に遭う危険性が高まります。

■この夏、安全運転(通行)のノウハウをしっかり身につけて実践することで、交通事故の危険から自分の身を守りましょう。

大平町交通安全協会

(事務局：大平総合支所 生活環境課)





交通場面に潜む

危険をブロック!

■交通場面には、交通事故につながる多くの危険が潜んでいますが、そのなかでも、実際に多発している事故に直結する危険から身を守るためのポイントをまとめました。



▲車の流れが順調でも、先行車が急に減速・停止することも…

◎特に、街なかや観光地などの交通量の多い道路では、車の流れが順調なときでも、渋滞などのため、先行車が急に減速したり、止まったりすることが少なくありませんが、それを予測せずに漫然と追従していると、前の車に追突する危険があります。

★前の車に追従しているときは、何よりもまず追突事故への警戒心を高め、前の車だけでは



ドライバーの危険

**車の流れが順調でも
前の車の急な減速を
予測しながら追従!**

ブロック!

なく、先行車の動向にも目配りして流れの変化を先読みし、いつでもブレーキを踏める態勢で追従しましょう。

**一時停止をせずに
交差点に出てくる
車両の有無を確認!**

◎特に自宅近くのいつも通り慣れた、信号がない交差点を通行するときは、その交通状況を熟知しているだけに安全確認が甘くなりがちですが、交差点道路から自転車や車が交差点にとび出してきた場合には、出会い頭に衝突する危険があります。

★たとえば、いつも通り慣れた交差点で、交差点道路側に一時停止の標識がある場合でも、「自転車や車が一時停止を怠ってとび出してくるかも…」と予測し、必ず交差点道路の車両の有無を確かめてから交差点を通行しましょう。特に夏場は暑さで注意力が低下しやすいため、要注意です。



▲日差しが強い夏場は、うつむき加減で歩き、安全確認を怠る歩行者も少なくない…

◎住宅地域の道路では、交通量が比較的少ないため、その地域の住民が「わが家の庭」にいる感覚で、安全確認を怠って横断することが少なくありませんが、そうした歩行者の行動を予測せずに漫然と運転していると、不意に横断してきた歩行者をはねる危険があります。

★特に、車の通行量が少なく人通りも少ない、地域住民の生活道路を走行するときは、「歩行者が不意に横断してくるかも…」と予測し、歩行者の早期発見に努めましょう。

**人通りが少なくても
歩行者を
探しながら通行!**



歩行者の危険

ジュンジュンロッキン!

車があまり通らない道路を渡るときでもしっかりと安全確認!



▲歩行者の事故は、道路横断中に車にはねられるケースが最も多い...

◎特に、自宅近くの通り慣れた道路を横断するとき、「ふだん車はほとんど通らないから…」と油断して安全確認をおろそかにしがちですが、たまたま車が接近してきていると、横断中に車にはねられる危険があります。

道路の右左から近づいてくる車がないかどうか確かめましょう。特に夜間、ドライバーからは歩行者がよく見えていないので要注意です。

◎青信号に従って横断歩道を渡るとき、「青だから安全…」と油断して、前ばかり見て歩きがちですが、交差点を右・左折してきた車のドライバーに見落とされ、横断歩道上ではねられる危険があります。

◎青信号に従って横断歩道を渡るとき、「青だから安全…」と油断して、前ばかり見て歩きがちですが、交差点を右・左折してきた車のドライバーに見落とされ、横断歩道上ではねられる危険があります。

交差点を右・左折し、横断歩道を横切る車の動向に目配り!

車中に子どもを放置するのは、大変危険です!

- 「曇っているから…」「少しの間だから…」「エアコンをつけているから…」と、車のなかに子どもを置き去りにして買い物などをしているあいだに、熱中症で子どもを死亡させる事故が後を絶ちません。
- たとえ日差しが弱く、短い時間でも、もしエアコンが切れてしまうと、車中の温度はあっという間に高温になりますので、絶対に子どもを車中に放置しないようにしましょう。



▲住宅地域にある信号がない交差点では、自転車と車の出会い頭事故が多発...



自転車の危険

ジュンジュンロッキン!

無信号交差点では、必ず一時停止をしてしっかりと安全確認!

◎特に、いつもの通り慣れた自宅近くの信号がない交差点を通行するとき、「車はめったにこないから…」と油断し、安全確認や一時停止を怠って交差点に進入しがちですが、たまたま交差点道路から車が出てきた場合には、出会い頭に衝突する危険があります。

◎青信号の横断歩道(自転車横断帯)を通行するとき、「青だから安全…」と油断して安全確認を怠りがちですが、たとえ信号が「青」でも、交差点を右・左折してきた車に横断歩道(自転車横断帯)上ではねられる危険があります。

でも、「一時停止をせずに、車が交差点に突っ込んでくるかも…」と予測し、交差点の手前で必ず一時停止をして、交差点道路から出てくる車がないかどうか、しっかりと確かめましょう。

◎青信号の横断歩道(自転車横断帯)を通行するとき、「青だから安全…」と油断して安全確認を怠りがちですが、たとえ信号が「青」でも、交差点を右・左折してきた車に横断歩道(自転車横断帯)上ではねられる危険があります。

◎青信号の横断歩道(自転車横断帯)を通行するとき、「青だから安全…」と油断して安全確認を怠りがちですが、たとえ信号が「青」でも、交差点を右・左折してきた車に横断歩道(自転車横断帯)上ではねられる危険があります。

青信号の交差点を通行するときでも、右・左折車に目配り!

安全運転で、楽しいレジャードライブを!

■夏は、キャンプや海水浴などのレジャーが楽しい季節ですが、道路渋滞などによってスケジュールが狂いやすいほか、暑さや運動などが原因で疲労がたまりやすいため、焦りによる無謀運転や、居眠り・ぼんやり運転による事故を起こす危険性が高くなります。そこで、安全で快適なレジャードライブのための「鉄則」をまとめました。

安全で快適なレジャードライブのための鉄則

①ルート等を事前に確認し、余裕のある計画を立てる



②前日は早めに就寝し、十分に睡眠をとる



③すべての座席でシートベルトを着用する



④同乗者は、ドライバーの運転のサポートに努める



⑤こまめに休憩し、眠いときは仮眠をとる



⑥ドライバーは出先で絶対に酒を飲まない



天候悪化などが予想される時は、無理をせず、レジャーの中止も検討しましょう

3S運動推進中



5月25日(日)に行われましたふれあい健康福祉まつり会場で、大平町交通安全協会女性部ドライバー会が交通安全啓発活動を行いました。

会場には白バイ・パトカーの展示・写真撮影コーナーもあり、白バイ隊・警察官とともに活動しました。

お子様や高齢者の方など多くの方に3S運動、交通ルール・マナーについて理解していただきました。

..... 3S(スリーエス)とは

SEE(見る)、SLOW(減速する)、STOP(停止する)の頭文字で

①SEE 子どもや高齢者をいち早く発見する。動きをよく見る。

②SLOW 子どもや高齢者を見たら減速する。

③STOP 道路で立ち止まったり横断中の子どもや高齢者を見かけたら、停止する。